

第1回 報告書

- 1 日 時 2024年6月23日(日) 午後1時30分～3時30分
- 2 会 場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 《36名》(中学生 5/一般 10/会員 21)
- 4 内 容

(1) 本会会員のガーナ出身パーコフィ・エイキンス氏による異文化講話とガーナ音楽体験を通し、「違い」を乗り越える相互努力と、ともに生きることで広がる世界の喜びを知る機会となった。パーコフィ氏が参加者一人ひとりの眼を見て握手をしながら英語で1分間挨拶を交わすことから和やかに交流が始まり、パーコフィ氏は「日本が東の端にある世界地図」を指しながら、日本に来るまでに訪れた国々の挨拶の仕方や習慣などで戸惑ったり驚いたりしたことを紹介された。後半は駐日ガーナ大使館から伝統衣装を身につけた職員も参加しパーコフィ氏の民族衣装と共に華やかな演出があったほか、ガーナのボルタ地方の女性農家と、先住民コミュニティによって生産管理される「カワモカ」コーヒー、ドライフルーツ・チョコレート、カラフルな織物や石鹸等々が紹介され、賑やかに試飲・試食が行なわれた。英語はもちろん、五感を使って楽しく学べる機会となった。

(2) アンケートの主な内容

- ・多くの人と出会いコミュニケーションできて楽しかった。
- ・世界の文化の違いを知ることができて進路の参考になった。
- ・楽しく参加できた。子供たちの明るい未来が楽しみ。カカオベースのモノカルチャー経済に疑問。去年の天候不順がガーナでどう影響したのか。
- ・海外を含め相手を理解することの大切さを知った。ガーナと日本の違いは興味深かった。

(3) 風景写真



* 2024年6月30日 茨城新聞に「英語で講話、音楽体験も 水戸でユネスコ塾」という記事が掲載されました。